

法人カード「UPSIDER」、メールで届いた証憑をAIが決済データと自動紐付け

既存の「請求書回収メール機能」をAIでさらに強化。証憑回収の負担を大幅に軽減

AIを活用した次世代法人カード「UPSIDER」（以下UPSIDER）を提供する株式会社UPSIDER（代表取締役：宮城徹・水野智規、本社：東京都港区、以下当社）は、UPSIDERの「請求書回収メール機能」をAIでさらに強化し、アップデートいたしました。本機能により、請求書回収メールアドレスに届いた証憑を、AIが自動で各決済データに紐付けることが可能となります。このアップデートは、経理担当者や従業員の業務負担軽減に大きく寄与します。



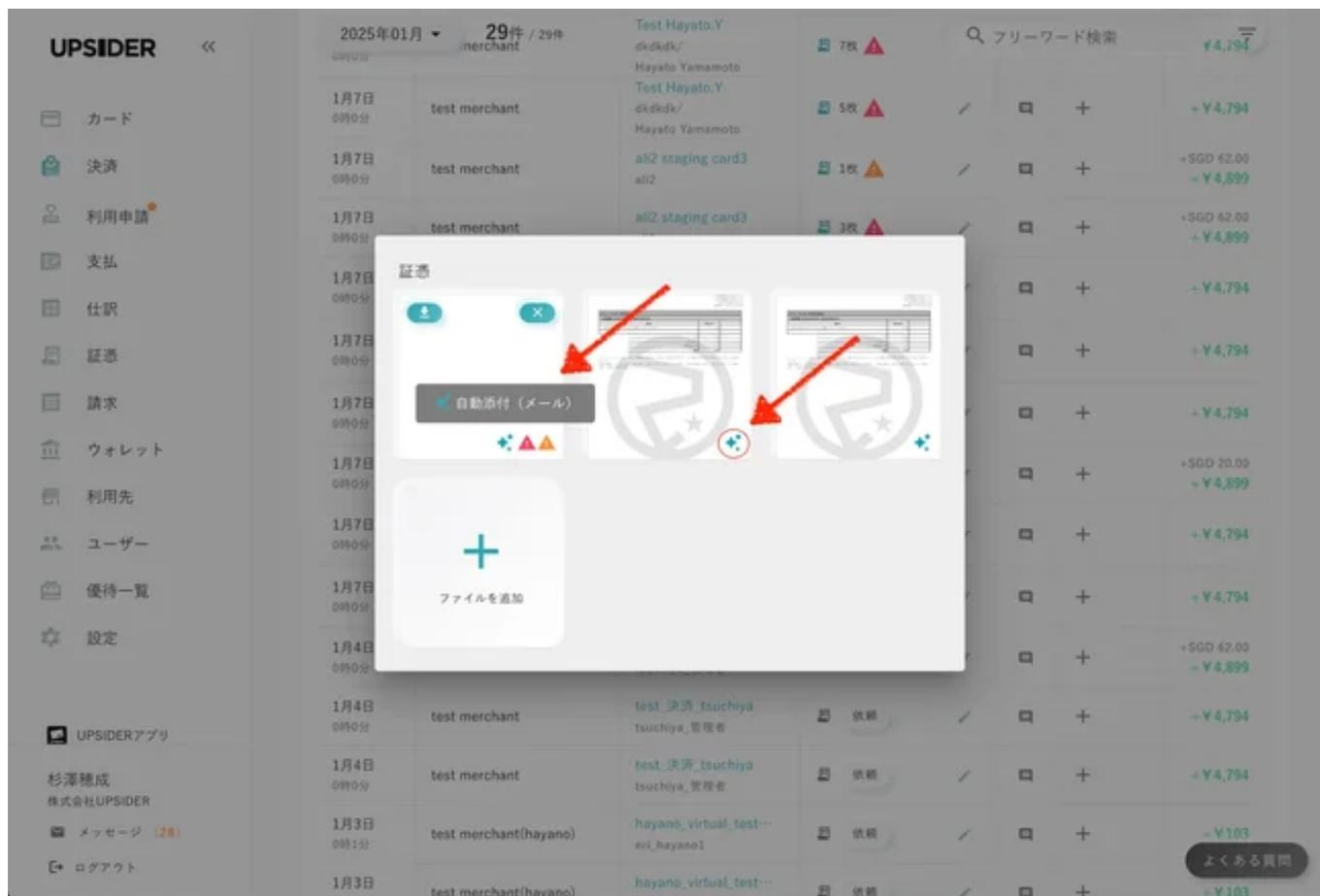
本アップデートの背景：「請求書回収メール機能」とは

請求書回収メール機能は、UPSIDERのカードごとに発行される請求書回収専用のメールアドレスを利用して、各サービスから送られてくる請求書をUPSIDER管理画面上で確認し、各決済データに紐づけることができる機能です。この機能を利用することで、従来手動で行っていた証憑の回収作業が効率化することができ、これまで多くの企業にご活用いただけてきました。

AIの活用でさらに進化：証憑を自動で決済データと紐付け

今回のアップデートでは、請求書回収メール機能をさらに進化させ、請求書回収メールボックスに届いた証憑をAIが自動で決済に紐付けられるようになりました。

AIが請求書に記載された金額や日付、対象カードの情報を解析し、該当する決済データと紐付けを行います。また、決済情報が後から反映される場合に備え、AIは数日間継続してチェックを行い、適切なタイミングで紐付け処理を進めます。さらに、自動で紐付けられた証憑にはUPSIDER管理画面上でアイコンが表示されるため、どの証憑が自動処理されたかを簡単に確認できます。



今回のアップデートは、経理担当者の作業を大幅に軽減します。

これまで手動で行っていた証憑の紐付け作業をAIが自動で処理することで、時間の削減だけでなく、ミスリスクも軽減されます。また、従業員に対する証憑提出のリマインド作業が不要となり、月末の負担が大幅に削減されます。

さらに、従業員にとっても証憑管理にかかる手間が省けるため、本来注力すべき業務に集中でき、業務効率の向上、企業全体の生産性向上に貢献します。

利用方法

既に「請求書回収メール機能」をご利用中のユーザー

現在ご利用中のユーザーは、新たな設定や操作は不要です。既に発行されている請求書回収メールアドレスに届く証憑をAIが自動的に解析し、決済データとの紐付けを自動で行います。

これから「請求書回収メール機能」をご利用されるユーザー

新たにこの機能を利用するには、以下の手順で設定してください。

1. 請求書回収メールアドレスの発行

UPSIDERの管理画面で法人カードごとに専用の請求書回収メールアドレスを発行します

〈新規カードの発行時〉

利用制限

月間リミット ①
 上限を設定する
¥ 150,000 ×

日次リミット ①
 上限を設定する
¥ 150,000 ×

取引あたりのリミット ①
 上限を設定する
¥ 150,000 ×

決済可能な利用先 ①
 利用先を制限する

決済可能な通貨 ①
 決済通貨を制限する

請求書回収メールアドレス ①
 発行する

発行リクエストを確定

〈カード詳細ページからの発行〉

UPSIDER
VISA

利用可能額 / 上限 ¥200,000 / ¥200,000

利用可能額 / 上限 ¥200,000 / ¥200,000

利用制限の設定へ

一時ロック

実店舗利用のロック

カード保有者等の設定・確認

請求書回収メールアドレスの発行

カード解約

2. 請求書送付先に設定

発行されたメールアドレスを、利用中の各サービスの請求書送付先として登録します。または、既存メールからUPSIDERの請求書回収メールアドレスに転送設定を行います

【利用先サイト】

請求先メールアドレス

XXXXXX@mail.up-sider.com

設定

3. 利用開始

設定後、証憑が請求書回収メールアドレスに届くと、AIが自動で各決済に紐付けを行います

[機能の詳細はこちら](#)

※本機能は100%の精度を保証するものではありません。誤紐付けの可能性がゼロではないため、業務の補助機能としてご利用ください。AIの仕様や精度は随時アップデートされます。

当社は今後も、UPSIDERを利用する企業の業務効率化を支援し、バックオフィス業務のDXを加速させるために、AI技術を活用した機能開発を継続してまいります。

株式会社UPSIDERについて

UPSIDERは、「挑戦者を支える世界的な金融プラットフォームを創る」をミッションに、利用限度額や会計処理などの財務課題を解決する法人カード「UPSIDER」を提供しており、累計決済額は4,500億円を突破しております(2024年9月時点)。決済だけでなく、決済前の利用先制限・上限設定・稟議申請など決済前の手続きから、決済後の利用履歴の即時管理画面反映、証憑回収・紐付け、稟議への紐付け、Slack連携による通知・証憑提出といった、一気通貫した幅広い機能が好評で、法人カードを安全に運用することが可能です。また、2023年9月には新たにAIチャット型業務ツール「UPSIDER Coworker」をリリース。SlackやMicrosoft Teamsなどのチャットツールと連携し、ほぼ全てのカード関連業務をAIと人が自動化します。ガバナンスやアカウントビリティが重要な上場企業のお客様にとって、全社的な支出管理の厳格化、経費精算業務の簡略化、会計処理の早期化に繋がられます。

[サービスページ](#)

当社が提供するサービスについて

個人事業主・法人企業を対象とした「支払い.com」は、株式会社クレディセゾンと共同で運営しており、企業間の取引におけるあらゆる銀行振込のお支払いを、ユーザーがお持ちのクレジットカードで決済できるサービスです。お支払いをクレジットカードのお引落日まで延長することで、ユーザーは資金繰りの改善が可能となります。ユーザーは書類の提出や面談、審査は必要ありません。

・支払い.com

さらに、グロースステージ以降のベンチャー企業に対する融資を進めていくための子会社「株式会社UPSIDER Capital」を2023年5月に設立。2023年11月には、株式会社みずほフィナンシャルグループとの合併事業として、UPSIDER Capitalを運営会社とするスタートアップ向けデットファンド「UPSIDER BLUE DREAM Fund」の運営を発表しました。総額100億円となった第一弾ファンドでは、グロースステージのスタートアップ向けに、これまでにないデット調達環境を提供します。

支払い.com

・ UPSIDER BLUE DREAM Fund

当社は、『成長企業を支援する法人カード「UPSIDER」を提供する会社』から、『世界で戦える日本企業を生み出し、日本の競争力を再び上げることを支援する、AI化された総合金融機関』へと進化してまいります。

詳細を見る

UPSIDER

株式会社UPSIDER

- ・社名：株式会社 UPSIDER
- ・WEB：<https://corp.up-sider.com/>
- ・設立：2018年5月
- ・代表者：宮城 徹、水野 智規
- ・資本金：14,293百万円(資本準備金等含む) ※グループ連結
- ・本社所在地：東京都港区六本木 7-15-7
- ・加入協会・認定：一般社団法人日本資金決済業協会、セキュリティ認定 PCI DSS v3.2.1、JIIIMA認証「電帳法スキャナ保存ソフト法的要件認証」「電子取引ソフト法的要件認証」、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 認証登録番号 IS 799150

本件に関するお問い合わせ先

ご導入のご相談や、取材申し込み、提携のご連絡は、pr@up-sider.com までご連絡ください。

※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000188.000076272.html>

株式会社UPSIDERのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchr/p/company_id/76272

取材申し込み、提携のご連絡は、pr@up-sider.com までご連絡ください。

また、お電話は080-7111-7671（広報担当者直通：五十川）までお願いいたします。